

(参考様式第2号)

行為地周辺地区等説明状況報告書

説明者	氏名	████████████████████
	住所	████████████████████
説明対象とした範囲 (自治会、地区名等) 及び戸数	隣接土地所有者6名、牧ノ入区長、役員2名	
上記を説明対象とした理由	隣接土地所有者については、行政手続きの有無に関わらず、他縣市町村でも必ず行っている。事業を行う長い期間、隣接の関係となるため、周知とご意見をお聞きする必要があると考えた。 区長及び役員については、地元を取りまとめる関係区の皆様へのご説明は当然のことながら必要と考えた。	
住民説明等の方法	ご自宅へ個別訪問	
実施日時	2020年10月～12月	
参加又は実施者数 (人もしくは戸数)	隣接土地所有者6名、牧ノ入区長、役員2名	
出された意見及び対応 (欄が不足する場合は別紙により対応してください)		
番号	意見	配慮・見解
1	進入路を除雪する場合は、塩分を含む融雪剤を使用することは控えていただきたい。	融雪剤の使用をする際は無塩タイプのものを使用します。
2	除雪した雪は両サイドの畑部分に散布しないようにしていただきたい。	除雪の際は畑へ散布しないようにします。
3	境界は立会いのもと、しっかり明示していただきたい。	測量業者様にて境界を明示するようにします。
4	設備の廃棄はどのような予定か。事業を中止した場合においても、誰かが責任を持って廃棄するようしていただきたい。	環境省、経済産業省のガイドラインに沿って対応致します。
5	20年以上昔の話だが、強風で家の屋根が飛ばされたことがある。強風の対策はしっかり行っていただきたい。	基準風速に耐えられる設計をしています。
6	積雪は多くて4mを超えることもある。積雪の対策はしっかり行っていただきたい。	積雪を考慮し設計しています。

7	<p>所有する土地の木が倒れたことによってパネルを破損させてしまった場合、責任を負いきれないため、対策を考えていただきたい。</p>	<p>事業者加入の保険にて対応し、近隣地権者様に迷惑をかけないようにします。</p>
8	<p>下流は木島平村の方面となるため、木島平村役場にも訪問していただきたい。</p>	<p>木島平村役場へ訪問します。</p>

※注1 説明に使用した書類を添付してください。

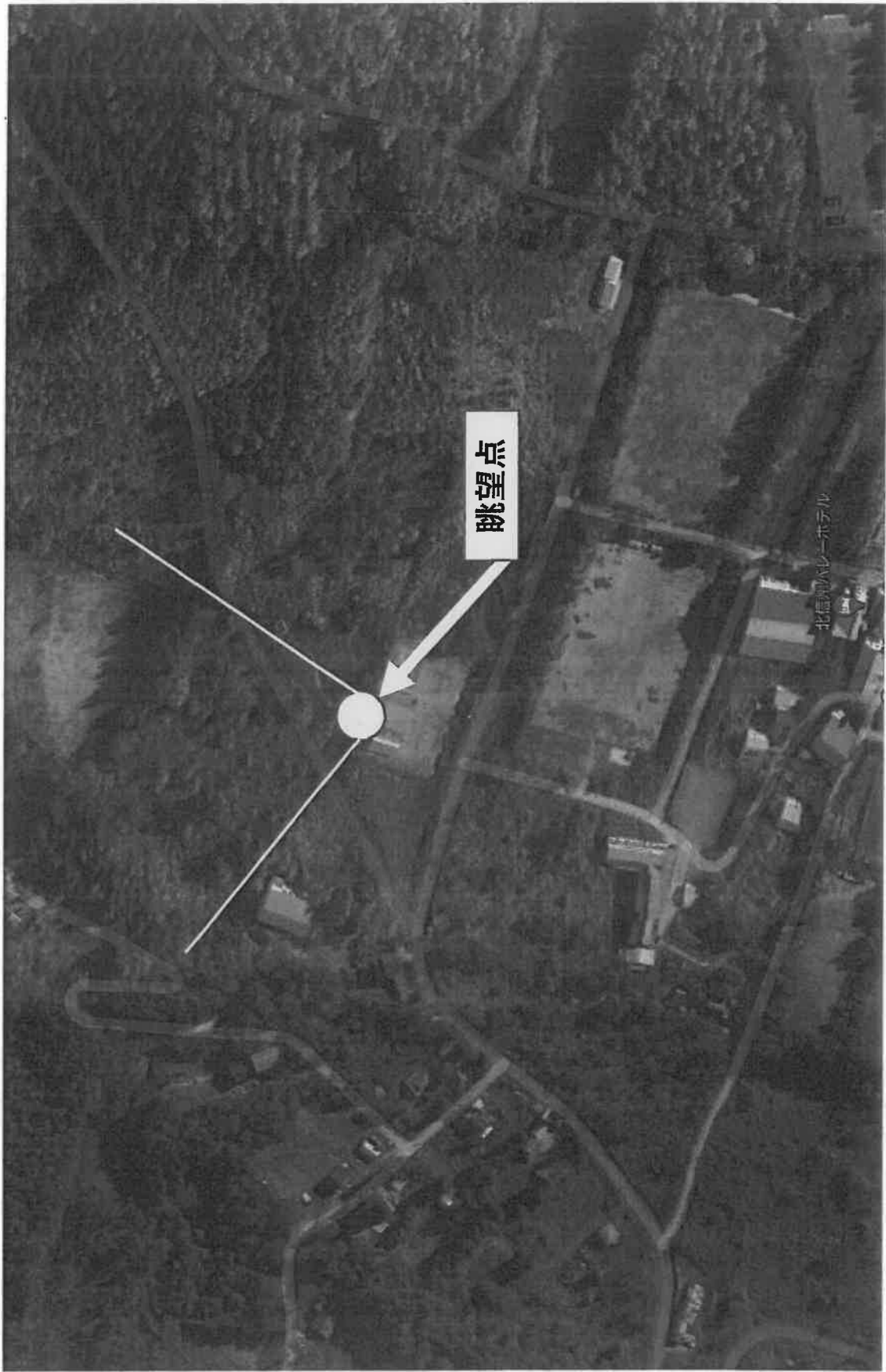
※注2 説明を複数行った場合は、それぞれ本報告書を作成してください。

太陽光発電施設の設置にあたっての配慮事項

項目		配慮事項	配慮した内容
太陽電池 モジュール	全体	(1) 稜線や斜面上部、高台等、周囲から見通せる場所は極力避ける。やむを得ずそのような場所を選定する場合は、尾根や地形の連続性が損なわれる等の違和感が生じないように、樹木の伐採や土地の掘削を最小限にとどめる。	樹々の伐採、土地の探掘を最小限にとどめる計画とした。
		(2) 公共的な眺望点からの景観への影響に特に留意し、必要に応じて完成予想図の作成(シミュレーション)等の実施を検討する。	付近の高台から撮影し、完成予想図を作成した。
	配置	(1) 敷地が主要な道路や住宅の敷地等に隣接する場合は、太陽電池モジュールを境界から一定距離後退させる。	主要な道路や住宅地に隣接はしていないが、境界部分からある程度後退させる。
		(2) 施設の規模や地形等に応じて分割する等、大規模な平滑面が連続することを避ける。	地形に応じて分割して配置しており、配列も規則性を持たせた。(配置図参照)
	規模	(1) 周辺からの視界をできる限り遮らないよう、施設の高さは極力抑える。	積雪対策をしつつ、高さを抑えた。
		(2) 主要な道路や公共的な眺望点から見える場合は、太陽電池モジュールの垂直投影面積を極力抑える。	パネルの角度を30度とし、垂直投影面積を抑えた。
	形態・ 意匠	(1) 当該地に応じた架台を選定するとともに、太陽電池モジュールの向きや傾斜をそろえる等、配列に一定の規則性を持たせる。	当該地に適切な架台を使用し、配列に一定の規則性を持たせた。
		(2) 太陽電池モジュールの傾斜角は、周囲の山並み、建築物の屋根等と極力整合させる。	パネルの角度を30度としている為、比較的周囲の建物と近い角度となっている。
		(3) 太陽電池モジュールの裏面が周辺の道路等から見えにくくする。	周辺が山林の為、通行人もほとんどいない為、問題なし。

項目		配慮事項		配慮した内容
太陽電池 モジュール	材料・ 色彩等	(1) 低反射のものを選択するか防眩処理を 施す等、太陽光の反射を低減する対策を 行う。また、素材の結晶が目立たないもの を選択する。		防眩処理が施され、結晶が目 立たないものを選択する。
		(2) 黒又は濃紺を基本とし、低明度かつ低彩 度の目立たないものとする。		黒又は濃紺の低明度かつ低彩 度の目立たないものを使 用する。
		フレーム	(1) 低反射の素材を用いる。	アルミニウム合金製の反射し にくいものを使用する。
			(2) 太陽電池モジュールと同 系色を用いる。	同系色のものを使用する。
付属設備	(1) フェンス等については、色彩、形態・意 匠に配慮する。		施設の全周にフェンスを設置 するが、景観に配慮したもの を使用する。	
	(2) 電柱電線類については、極端に増加させ ないよう、低減に努める。		中部電力と協議し検討した。	
	(3) 架台、パワーコンディショナー及び変圧 器等の付属設備については、色彩等に配 慮する。		使用する色数を減らす。	
敷地の緑化	(1) 植栽計画にあたっては、効果が早期に発 揮できるよう、根巻きを行った苗などの 使用を検討するとともに、植栽間隔や苗 木の大きさに配慮する。		緑化効果の早いわら芝を植栽 することとした。	
	(2) 樹種の選定にあたっては、外来種及び低 木性の樹種を避け、地域に適した植生と する。		周辺環境に適したわら芝を採 用した。	
その他	(1) 施設の規模が大きく主要な道路や住宅地 に反射光の影響が懸念される場合は、配置 や向き、傾斜の角度、材料、植栽等の遮へ い措置について検討する。		住宅や主要な道路が近くにな いため、影響は少ない。	
	(2) 施設及び敷地内は、定期的に保守点検を 行うなど、適切に維持管理を行い、景観の 保守に努める。		20年間の維持管理計画を立 て、それに沿って管理を行う。	

なお、上記以外でも、設置箇所周辺の土地利用状況、周辺景観の状況に応じて、より効果的な配慮方法を工夫してください。



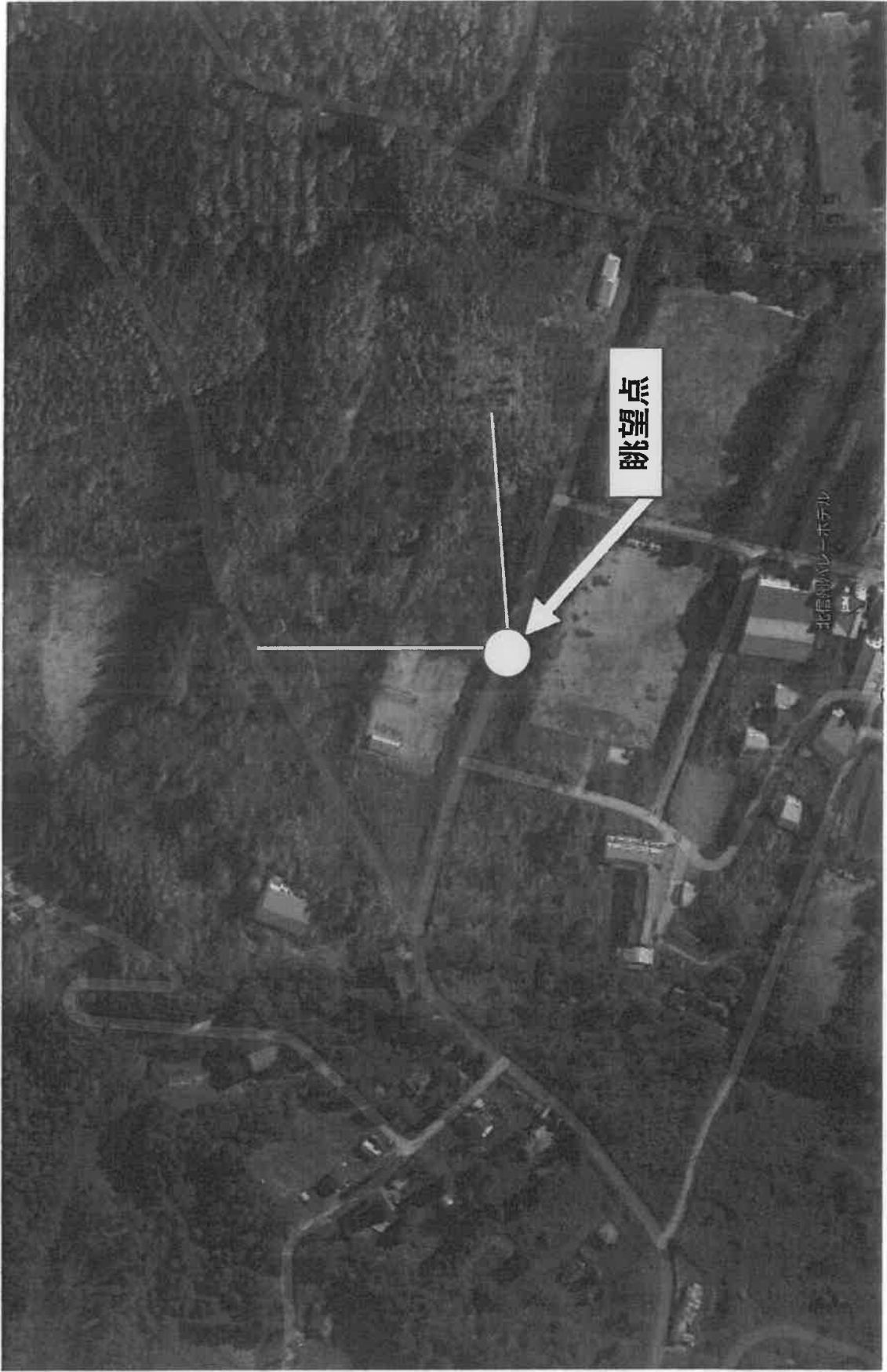
眺望点写真



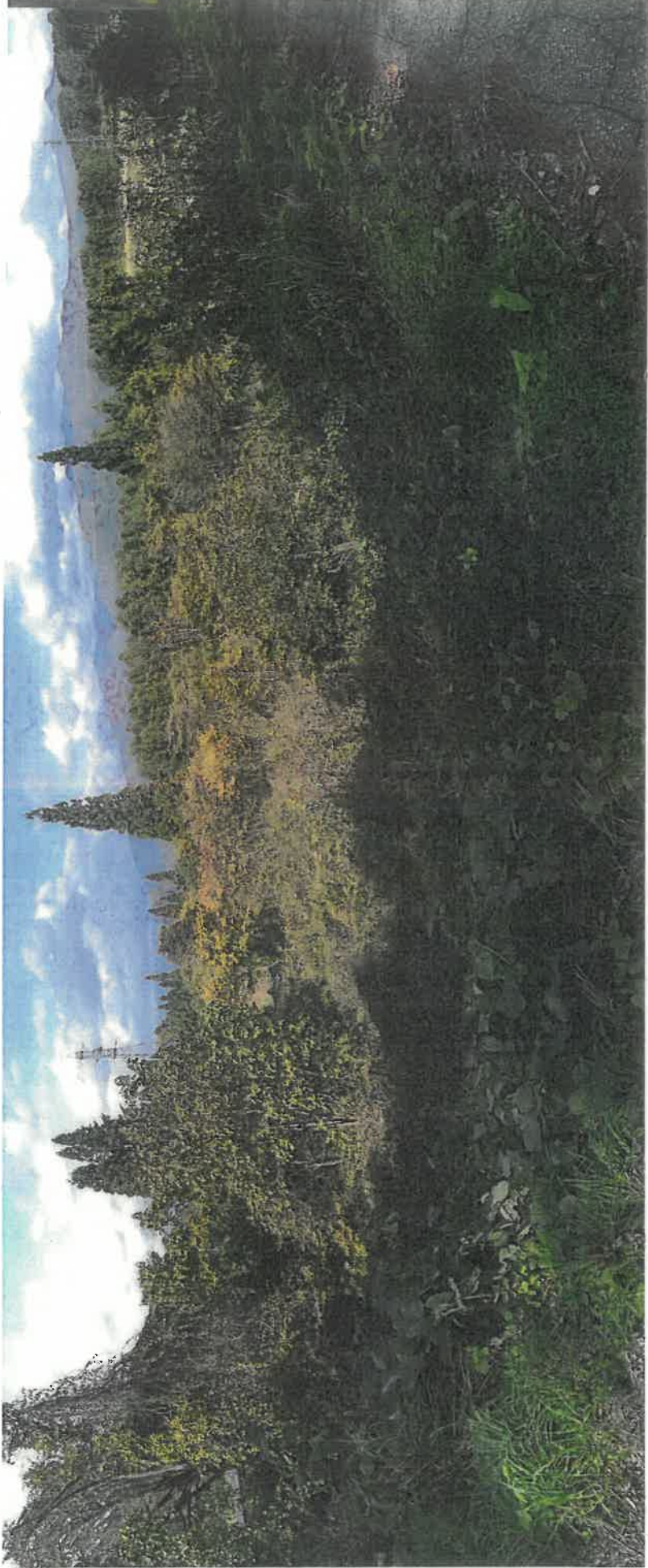
2020年10月29日 撮影



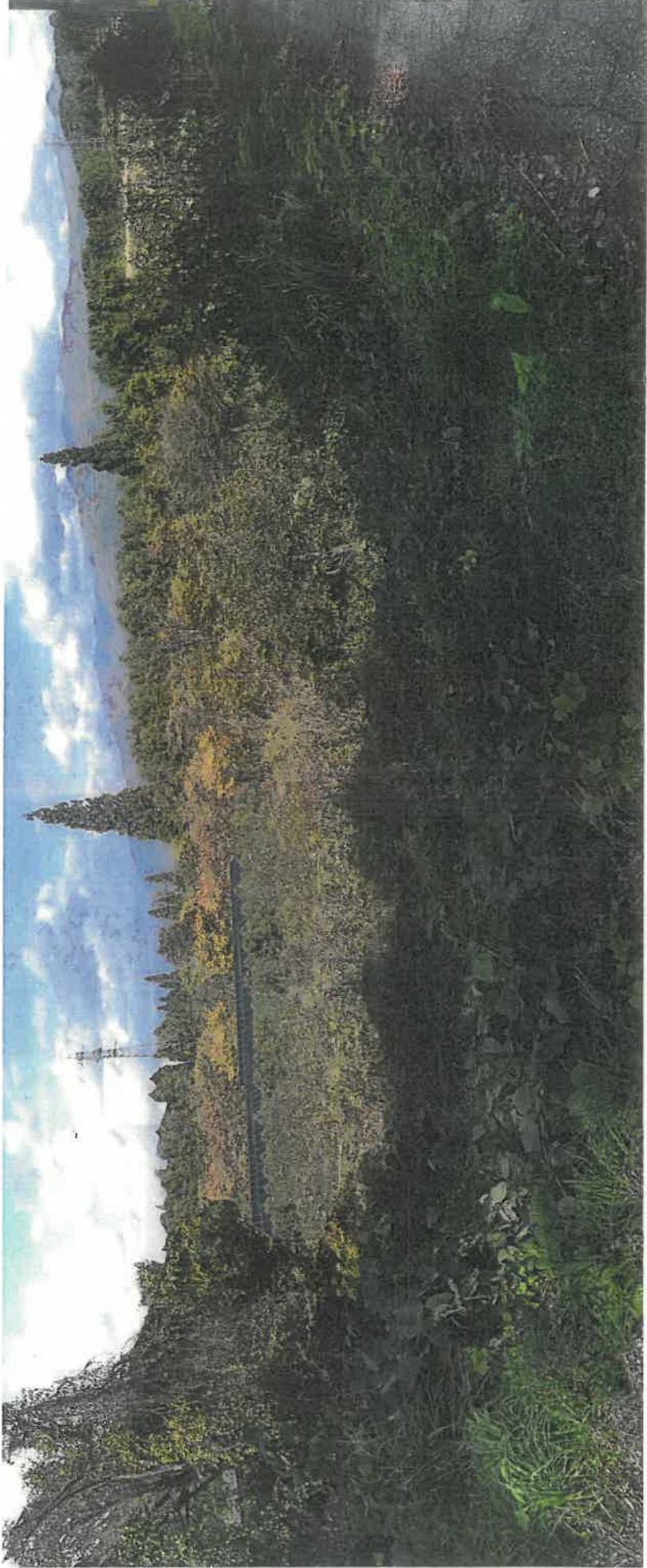
完成イメージ



眺望点写真



2020年10月29日 撮影



完成イメージ